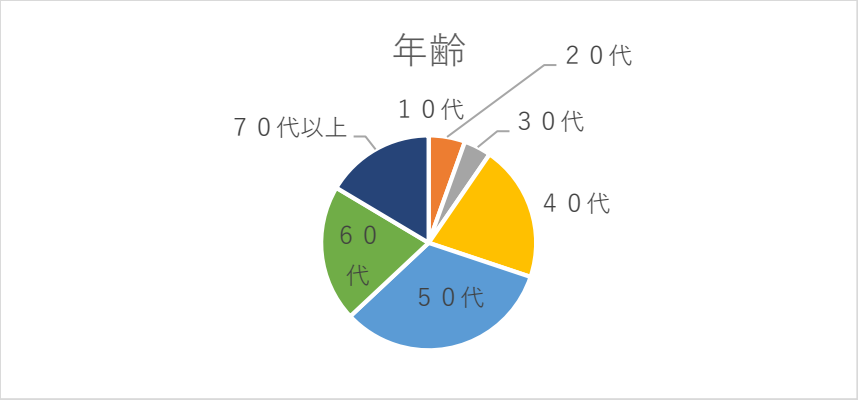
第４回スピーチマラソン　アンケート集計

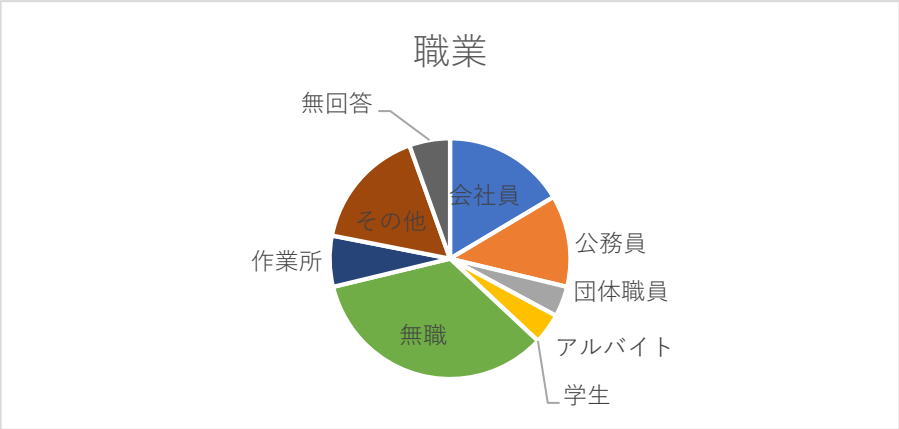
１．年齢

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
0	4	3	15	24	15	12



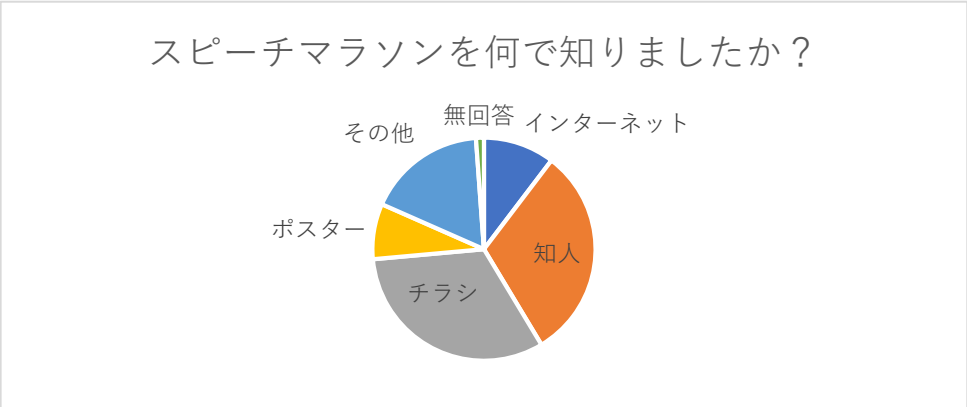
２．職業

会社員	公務員	団体職員	アルバイト	学生	無職	作業所	その他	無回答
12	9	3	3	0	25	5	12	4



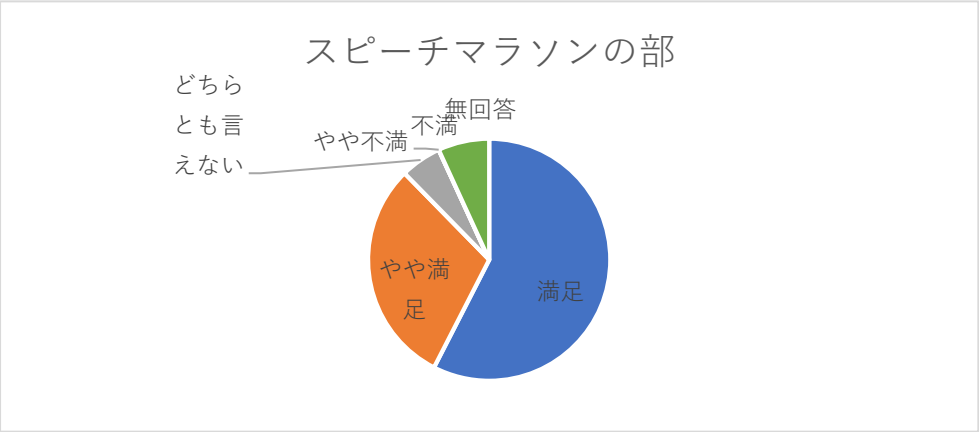
３．スピーチマラソンを何でお知りになりましたか？

インターネット	知人	チラシ	ポスター	その他	無回答
9	27	28	7	15	1



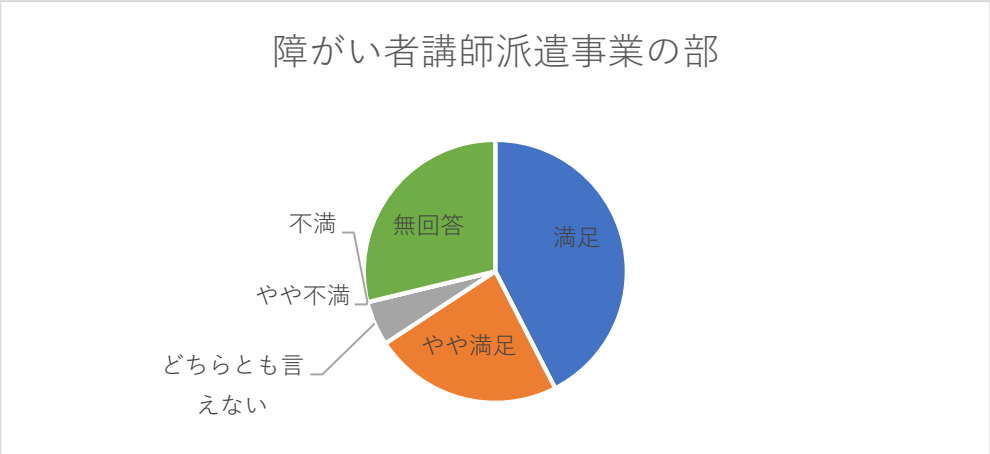
4．①スピーチマラソンの部

満足	やや満足	どちらとも言えない	やや不満	不満	無回答
42	22	4	0	0	5



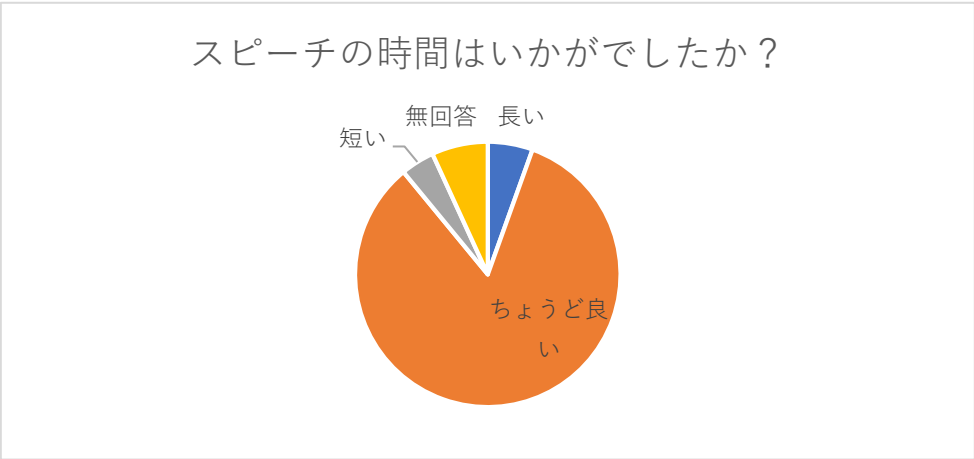
4．②障がい者講師派遣事業の部

満足	やや満足	どちらとも言えない	やや不満	不満	無回答
31	17	4	0	0	21



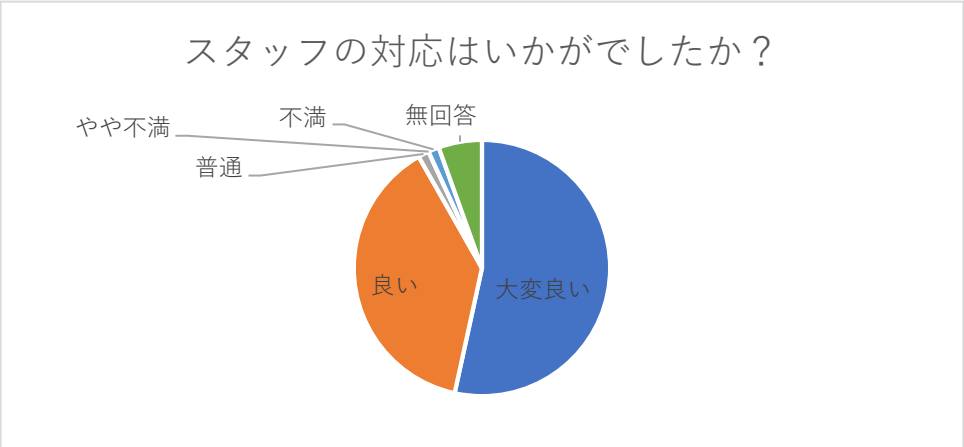
5．講師一人のスピーチの時間はいかがでしたか？

長い	ちょうど良い	短い	無回答
4	61	3	5



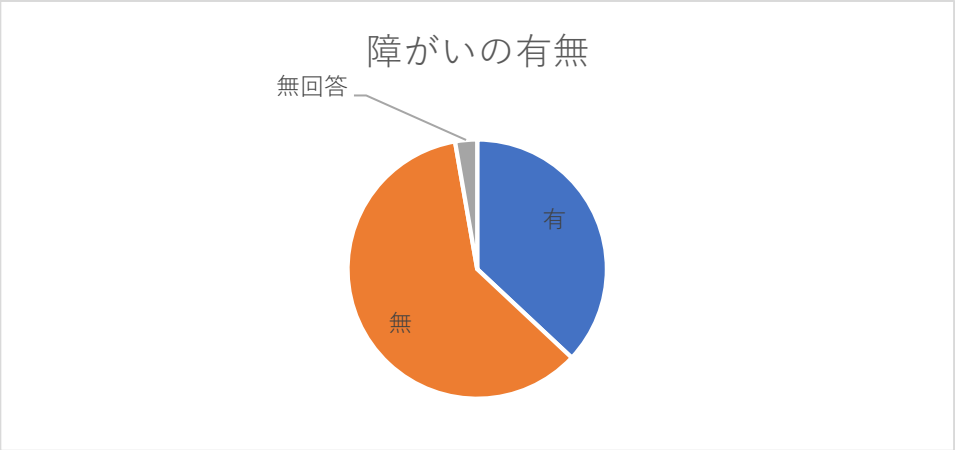
6. スタッフの対応はいかがでしたか？

大変良い	良い	普通	やや不満	不満	無回答
39	28	1	0	1	4



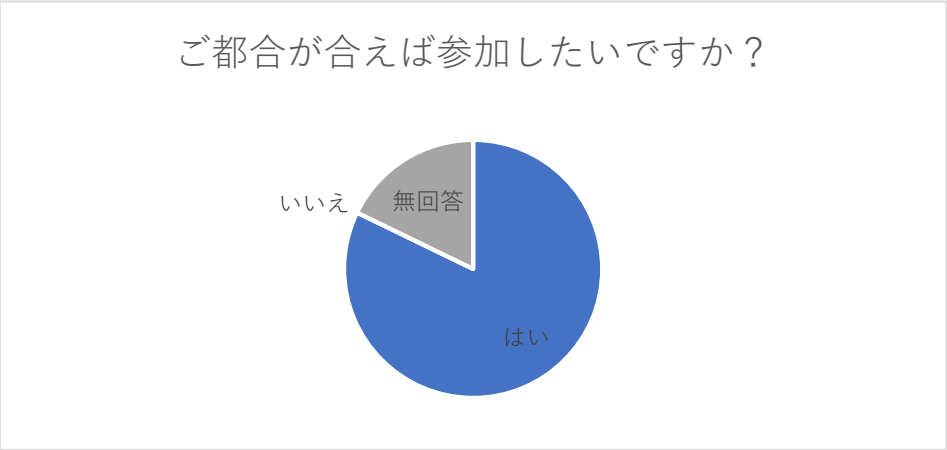
7. 障がいの有無

有	無	無回答
27	44	2



8. ご都合が合えば参加したいですか？

はい	いいえ	無回答
60	0	13



一番印象に残っているスピーカーのお言葉はありますか？

公害
現代のカナリア(2名)
視覚障がいの山科さんが実演をしながら語られた、SOSのサインをしている人が見かけたら助けてあげてください。という言葉です。是非、自分も見かけたら声をかけたい思います。
最終スピーカーさんの前川さんの『福祉サービスに頼らずに生きて行く』決意
沢山あり、一言とはいいきれない。全て貴重な言葉ばかりでした。
小林睦男さん。14歳でこの世を去ってしまった、私の同級生のことを思い出しました。
佐々木正好さん。「差別なき平等」～。どのようにすれば良いのだろうか…というのを感じました。
栄養の中で大切なのは鉄分
前川絵里華さんのスピーチ(2名)
化学物質過敏症の方のご苦労がよくわかりました。また、最後の女性の「前例がない」と周りから言われたというお話はとっても考えさせられました。
前向きな生き方、「今日が残りの人生最初の日」(7名)
目標が大事。できることをうばわず。サポートしてほしい。
食べ物が精神疾患に大きくかかわる。
戸田さん～明日が保証されていないことを知った
前川さん～理解のない人もいる・・・そんな人とは付き合わなくていい。周りには他に協力してくれる人がいる。
いつも当事者の方々のお話には考えさせられます。今日は佐々木さんの「訴えを生き方の参考に」でした。
″前例がない″(5名)自分にも口にすることもあり、反省されられました。知らないだけ(「知ろうとしないだけかも」)
何か困っていることがあれば相談することが必要。障がい事業所や相談事業所など
皆さん、それぞれ素晴らしい発表でした。
化学物質過敏症は、様々な条件により症状が出るのだということを再認識しました。中々難しい問題だと考えさせられました。
化学物質過敏症で学校に行けない子供がたくさんいること
筋ジストロフィーの方の前向きもな考え方がすばらしいと思った。
笑顔、悪口を言わない、感謝、できる仕事があるのになぜやめなければならないのか
独居障がい者が、災害の時困らない為に日頃からご近所に要支援者が住んでいることをアピールする大切さ
坂江稔さんのお話を聞いていて、事故により人生が大きく変わり…ここまでくるまで大変な努力をご苦労だっただろうな…を感じました。
これは選べない。全員印象に残っています。全員からすざましいオーラを感じました。その人それぞれの強さが目立ってました。
白杖を上にあげた時はSOS→知らなかったです
知らない事で差別が起こる→知ってもらう事が大切である
近所に要介護者がいることを知ってもらう事が近所づきあいの第一歩！！がんばってネ！！
皆様方のそれぞれの努力に頭が下がります。
障害者とサポートする側がともに安心して過ごせる世界を考えたい
たくさんありすぎて思い出せないが、おしゃれでもして外に出ておいしいものをたべて閉じこもらないよう
小林睦男さんの前向きなスピーチに勇気をいただきました。「ありがとうの気持ちを持って感謝をして生きて行く」という言葉に″感謝″という思いが、幸せに生きていくことにかかせないのだと実感しました。
大川みゆきさんの化学物質過敏症。(2名)
畠山忠さんのうつ病についていろいろ考えさせられた。
障害が有っても無くても戸田さんの。

山科氏による「白杖の合図(白杖のSOSのサイン)」(2名)
令和元年度講習修了生は勇者たち「ここにいる人は勇者だ」
大家さんに家に入ってこられた方…(障害者はよだれをたらし…などは偏見)
障がいは自分の一部分にすぎないということ。
頑張らないことを頑張る。
今日が1日の始まり、ていねいに1日を楽しく過ごす。パラ・パワーリフティング競技を応援したいと思いました。
一般就労、一人暮らしの方に人それぞれのライフスタイルに対応できるシステムを作って欲しいを思います。ガイドヘルパー、ヘルパー支援など。
午前中の部だけ参加させて頂きました。皆さん全員、訴えたい事を丁寧にお話ししてくださいました。とてもわかりやすく、時間があっという間でした。
戸田雄也さんの2020東京出場を目指したい。ぜひ出場して好成績を勝ち取ってください。
戸田雄也さんの言葉(今日は最初の1日と思う事)
残りの人生を楽しみたい
戸田さんの始まりの日かな
安心して過ごせる
大川みゆきさんの身体・化学物質過敏症について、2009年に認定された。認知度が低く理解が得られない事による、精神的な苦しみと理解することの大切さを知ることが出来ました。災害避難所での対応についても課題であると知りました。

どのような障がいをお持ちの方のお話を聴きたいですか？

発達障がいの方
アスペルガー、ADHD、うつ
発達障害の方の就労の工夫や大変さ。
ピアスタップとして活動している方のお話など。
脳の病気にて障がいを持たれた方
視覚障がい者(特に盲導犬ユーザー)
精神障害の方が、どのようにモチベーションを保って生きていらっしゃるか（もちろん身体、知的の方も含め）
比較的軽度の障碍程度の(身4～・療B一・精3)スピーカーだから出来るようなリアリティに富んだ生々しく、タブーの無き話。同じ障碍者であろうとも、3者の間との差を否が応でも感じてしまい、時にはリスナーによってヘイトを感じてしまう程のリアリティの基づいた話
内部障がいがある方の人間関係の克服方法の体験談をお持ちの方の話
聴覚障害の方々
たくさんの種類の障がい。
どうして講師をすることに興味をもったのか、その辺りをについてもっと詳しく話を聞いてみたい
聴覚に障がいのある方から手話通訳や文章で日常の不便など
知的障がい
今回のように様々な障がいの方の話を聞きたい
知的障がいを伴わない発達障がい者の勤労の難しさ、具体的な体験の話。表向き障がい者雇用をうたっているが実際の現場では思ったより理解がなく苦労している体験や改善がなされたのか等の話
難病や精神障害について理解を深めたいので、お話を伺えたらと思います。
障がいというよりも、入所施設や精神科に入院していた人（現在そのような生活の方でも良いが）のその時の気持ちを聴きたいと思っています。
いろいろな立場の方のお話を聴いていただきたいです
発達障害。作業所で色んな障害者いて職員は″多様性″とかいうが、こちらの利用者がこのことで悩んでいても私はこの事で困る人だとストレスがたまり事業所をやめたい為、他者理解むずかしい
知的障がい者について複数
うつ病の方がどのように克服したのか…というような社会復帰をした方の体験談をお聞きしたいです。
障がいの種類ではなく、向き合って、前を見つめている人の話。
健常者と平等に扱われることを希む人の話。
精神障がい
高次脳機能障がい
難病、合併障害、発達障害、精神障害
聴覚に障がいのある方のお話。
全て
障がいではないけれどもLGBTの方やひきこもりの当事者の方
障害をお持ちの当事者の方のご家族のお話を聞きたいです。
世間一般にあまり知られていない障がいを持った方の話を聴きたいです。
自分を力強く言葉や考え方
パニック障がい

好評価の感想

今日はありがとうございました(3名)
今期の新しい講師の方々は、障害特性がバラエティ(？)にとんでおり、各人のお話をもっと伺いたいと思いました。
本日はありがとうございました。大変参考になりました。
とても有意義なイベントでした。語りつくされた言葉かと思いますが、特に内部障がいを持っている方とそうではないと思い生活している人々と何が違うのか？と思ったことです。もちろん傷病名がDr.より特定された人とそうでない人というところかと思いますが…今は中々理解されない方にも多くいると思いました。けれども「明けない夜はない」と言います。いつか、少しずつ社会は変化していくと信じています。頑張れ日本！
講師のみなさん、スタッフの皆さん、たいへんおつかれさまでした。
色々な障がいの方の話を聞き私にできることは何があらためて考えさせられました。今後も色々お話を聞けたらと思います。
講師の皆さんには、事前準備から本番まで、本当にお疲れ様でした。主催者、スタッフ、ボランティアの方々、ありがとうございました。
関係者の皆様、ご準備お疲れ様でした。これからも、どんどん、様々な機会、メディアで発信をして頂ければと思います。
食事とうつの話(畠山さん)のお話は、今の若い人(大学生や社会人なりたて～20代の人たち)にきいてもらいたいと思いました。
会場の空気感がものすごく良いです。職場では支援する人、障がいがある人というような上限関係が消えません。つかれます。ここにはまったくそれを感じませんでした。
秋の連休にもかかわらず、多数の参加者があります。もっともっといろいろな所に講師の方が派遣される事を期待しています
手話の勉強をしているので、本日の手話通訳とっても勉強になりました。いつか手話通訳としてお手伝いできるように勉強を続けます
初めて参加しました。病気の種類の多さに驚きましたが、それに向かっていく勇気や頑張りに感動しました。
会場で売られていたパンやクッキーがとても美味でした。ありがとうございました。
ボランティアの皆さん、おつかれさまでした。そして、市社協ボランティア活動センターの皆さん、おつかれさまでした。
障害のある皆さん前向きに明るく過ごしている姿に感動いたしました。なかなか多くの方々の思いを聞く機会がなかったのでとても今日は私も前向きに福祉と言うものについて考えさせられる1日でした。
山科さんの白杖の話はとても良かったです。その場面にあった時には声をかけたいと思いました。
初めて聞きました。現実を見つめることのつらさを感じました。知る事は良かった。又聞きにくる(少し重たいけど)
障がい当事者本人の生の声は、やはりはく力は違いますね。思いがストレートに伝わってきました。″みんなちがってみんないい″そんな共生社会で楽しく生活できるといいなって心から思います。生の声を聞くことが出来てありがたい時間でした。お疲れ様でした。明日からまた元気でやりましょう❤
また次回も参加したい
ボランティアや各養成講座の案内チラシを沢山いただけて、参考になりました。色々な情報を得る、それを興味ありそうな方へ広める事なら私にもできるなーと思いました。「何か人の役に立ちたい」と思っている人は沢山いると思います。
行動にうつすきっかけさえあれば「これから学ぼう!」という気持ちになる人は大勢いると思います。さっぽろ市の広報や駅構内、多くの人の目にとまる場所で案内活動をしてもっと多くの人にスピーカーさんの声を聞いてもらいたいなと感じました。本日はありがとうございました。
今回初めて参加させて頂きました。皆さんの前向きな考え方に沢山の元気を頂きまして、自分もひきこもることもなく、前向きにポジティブに一日一日を生きたい「そして笑顔で・・・」心がけています。今日参加できて良かったです。ありがとうございました。
自分の悩みに気づき、頑張る勇気を貰いました。ありがとうございました。
話し合い(中間の)は、生のその場の声をもっと聞きたかった。(修了生による)
スピーチマラソン、益々パワーアップしてきた印象を受けました。要約筆記はとても良かったです。
前半、知識を増やすお話が多かった中、坂江さんのお話は心に沁みてくるものがありました。

改善点の感想・意見

昼休みの時間が短かったため、一部休憩を被りお話を聞くことができず残念でした。案内のチラシに詳しい時間割を掲載していただければ良かった。
少し空調がきつく感じました。半袖だったもので…。
午後よりご拝聴しました。それを踏まえて、私は、皆様に、こんな事を問いかけたいです。ご自身の一生が美談となることをお望みなのでしょうか？痛み、苦しみ、恐怖、欲望、葛藤、憎悪。そんなあらゆる感情。そんな私たちが最も聞きたい、リアリティや共感がどこか感じることができませんでした。そう思ったと共に、スピーカーの皆様もどこか抑圧している部分があるのだろうか？とも感じました。非常に厳しい意見、どうかご容赦下さい。しかし、私を含めて、決して楽には生きてはいけないことをわかっているからこそ、リアルな気持ちを共感したかったです。
もっと多くの方にこのようなお話をきいていただけたらと思いました。
残念ながら、若い方の参加が少なかったように思います。運営者側だけでの努力では何と難しいところはありますが、少しでも多くの方々に参加いただけると良いですね。
すぷりんぐ活動紹介の際、マイクが小さく聞き取りづらく、スタッフさんの話声等で全然聞こえなかったのが残念だった。
後ろの席の人がずっと2人で話していて集中しずらかった。スピーチを聞きにきているという主旨なので、私語はひかえるようアナウンスしてほしい
動画を入れる場面で眼が見えないので解説を入れてほしい
スピーカーの音をもう少し高音にしていただきたい。私だけかも知れませんが…聞き取りにくく感じました。
当事者本人からの声を聴く機会が今後も増えていく事を望みます
前半会場が少し涼しく思ってしまいました
司会者と各人のプロフィールの部分が重なる部分が多いと感じた
お昼休みのランチタイムの時間が短すぎ、また短いことのアナウンスなども必要ではなかったか。（お昼を1Fのふらっとで食べようと思い、昼ご飯の用意をしてこなかったため）
それぞれの障害の方々が困った時、どの様な言葉、してほしい行動が良いのかおしえてほしい。
車イスの方など道でお手伝いしようとして声をかけると大じょうぶです言われるとなんとなくショボンとしてしまいます。もう少しことわりかたもやわらかくと思う時が有ります
確かに一般の方に障がいを理解していただくことは大事なことで、これからも続けてもらいたい。それと並行して、どうすれば「課題が解決するのか？」も話し合ってもらいたい。我々「脳卒中者」は法律を制定するところまでいっていて、後、法律どおりにいくかどうかを今現在チェックしているところです。（法律を制定しても社会は変わらない）
一般のの方には専門用語はあまり使わないようにしたほうが良いのでは？（ADHDとか）
令和元年度講習修了生の方の話をもう少しききたかった。
健常者に対して、外出時での気にしてほしいことなど、アピールしてはどうでしょうか？（危険な事など）
会場の扉を閉めて下さい。（雑音が多いため）
障害があっても、交通公共期機関を移動(安全に)できるよう整備してほしいと思います。
要約筆記利用専門席の利用がなかったように思いますが、耳の不自由な人たちにも参加するようPRをすべきと感じました。